

1. 講義

- 川西 徹, 「国立医薬品食品衛生研究所の使命, 組織, 業務内容」, 平成19年度必須医薬品製造品質管理研修 (GMPコース) (2007.11)
- 川西 徹, 「薬品部の業務について」, 平成19年度薬事行政官研修 (2007.11)
- 四方田千佳子, 「固形剤の品質再評価」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程薬事衛生管理コース (2007.6)
- 四方田千佳子, 「ジェネリック医薬品とは」, 岡山大学大学院 (2007.6)
- 四方田千佳子, 「国際的にみた我が国の生物学的同等性試験」, 岡山大学大学院 (2007.11)
- 四方田千佳子, 「医薬品の品質確保－日本の生物学的同等試験－」, (社)国際厚生事業団 (2007.12)
- 吉岡澄江, 「医薬品の安定性試験」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程薬事衛生管理コース (2007.6)
- 吉岡澄江, 「医薬品の品質確保－安定性試験－」, 第18回必須医薬品製造管理研修 (2007.11)
- 榎山行雄, 「医薬品の品質保証とGMP」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程薬事衛生管理コース (2007.5)
- 榎山行雄, 「医薬品の規格設定」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程薬事衛生管理コース (2007.5)
- 榎山行雄, 「Principles of Pharmaceutical Quality Control」, 第18回必須医薬品製造管理研修 (2007.11)
- 香取典子, 「統計学的手法」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程薬事衛生管理コース (2007.6)
- 坂本知昭, 「品質試験概論」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程薬事衛生管理コース (2007.5)
- 坂本知昭, 「分析法バリデーション」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程薬事衛生管理コース (2007.6)
- 坂本知昭, 「試験検査室管理ガイドラインについて」, 三重県健康福祉部平成19年度第1回薬事関係高度化研修会 (2007.11)
- 小出達夫, 「理化学試験機器概論」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程薬事衛生管理コース (2007.5)
- 山口照英, 「バイオ医薬品の品質保証」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程薬事衛生管理コース (2007.6)
- 合田幸広, 「最近の食薬区分について」, お茶の水女子大学化学・生物総合管理の再教育講座 (2007.8)
- 佐藤陽治, 「循環器領域の遺伝子治療・再生医療に関する最近の動向と安全性評価」, 早稲田大学理工学術院 (2007.7)
- 土屋利江, 「化学・生物総合管理の再教育講座」, お茶の水女子大学 (2007.8)
- 土屋利江, 「医療機器の安全性に関する非臨床試験とGLPについて」, (財)日本薬剤師研修センター第13回GLP研修会 (2007.9)
- 佐藤道夫, 「医療機器総論」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程薬事衛生管理コース (2007.5)
- 西村哲治, 「水質の検査と評価」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程水道工学コース (2007.6)
- 西村哲治, 「精度管理の留意点について」, 水道水質検査精度管理に関する研修会 (2007.8)
- 西村哲治, 「揮発性有機化合物の分析」, 平成18年度環境測定分析統一精度管理調査結果説明会 (2007.8)
- 西村哲治, 「水質の検査と評価」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程水道工学コース (2007.9)
- 西村哲治, 「LC/MSによる医薬品の分析」, 環境省環境調査研修所 (2007.10)
- 米谷民雄, 「食品中有害金属に関する最近の行政施策と分析法の改良」, 大阪薬科大学 (茨木) (2007.10)
- 米谷民雄, 「金属の分析法」, 岡山大学, (2007.11)

- 米谷民雄, 「規格基準の設定の経緯について」, 食品衛生登録検査協会平成19年度残留農薬・動物用医薬品研修会 (2008.3)
- 根本 了, 「残留農薬の検査法」, 厚生労働省医薬食品局食品安全部平成19年度食品安全行政講習会 (2007.4)
- 根本 了, 「食品中の残留農薬試験法の現状について」, お茶の水女子大学平成19年度化学・生物総合管理の再教育講座 (2007.6)
- 根本 了, 「食品中の残留農薬の試験法について」, 厚生労働省医薬食品局食品安全部平成19年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会 (2007.8)
- 根本 了, 「ポジティブリスト制度と残留農薬試験法」, 厚生労働省WHOフェローシップ研修 (2007.9)
- 根本 了, 「Multiresidue analytical methods of pesticides in food for positive list system introduction.」, 沖縄県衛生環境研究所平成19年度JICA衛生環境分析技術者コース研修 (2007.10)
- 根本 了, 「畜水産物を対象とした一斉試験法について」, 日本農薬学会農薬残留分析研究会 (2007.10)
- 根本 了, 「食品中の残留農薬の試験法について」, 食品衛生登録検査機関協会 (2008.2)
- 根本 了, 「残留農薬とその試験法について」, 食品衛生登録検査機関協会平成19年度残留農薬・動物用医薬品研修会 (2008.3)
- 宮原 誠, 「化学・生物総合管理の再教育講座」, お茶の水女子大学 (2007.6)
- 松田りえ子, 「サンプリングの重要性」, 農林水産省行政に役立つ食品分析セミナー (2007.6)
- 松田りえ子, 「食品中の残留農薬の試験法評価ガイドラインについて」, 厚生労働省医薬食品局食品安全部平成19年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会 (2007.8)
- 松田りえ子, 「試験法評価ガイドラインについて」, 日本農薬学会農薬残留分析研究会 (2007.10)
- 松田りえ子, 「食品中の残留農薬の試験法評価ガイドライン等について」, 地方衛生研究所東海北陸ブロック理化学部門研修会 (2007.11)
- 松田りえ子, 「食品中の汚染物の摂取量調査について」, 岡山大学 (2007.11)
- 松田りえ子, 「食品中に残留する農薬等に関する試験法の妥当性評価ガイドラインについて」, 厚生労働省医薬食品局食品安全部平成19年度地方厚生局食品検査担当官技術研修会 (2008.1)
- 松田りえ子, 「有害物質の摂取量評価 (日常食からの曝露を評価するトータルダイエット調査)」, 公衆衛生情報研究協議会 (2008.1)
- 松田りえ子, 「食品中の農薬等に関する試験法評価ガイドライン」, 日本食品衛生学会第8回特別シンポジウム (2008.2)
- 松田りえ子, 「食品に残留する農薬等に関する試験法の妥当性について」, 食品衛生登録機関協会 (2008.2)
- 松田りえ子, 「食品に残留する農薬等に関する試験法の妥当性について」, 食品衛生登録検査協会平成19年度残留農薬・動物用医薬品研修会 (2008.3)
- 村山三徳, 「残留動物用医薬品の検査法」, 平成19年度食品安全行政講習会 (2007.4)
- 村山三徳, 「残留動物用医薬品の試験法について」, 食品衛生登録検査協会平成19年度残留農薬・動物用医薬品研修会 (2008.3)
- 渡邊敬浩, 「食品分析の動向～不確かさを中心に～」, 厚生労働省医薬食品局食品安全部平成19年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会 (2007.8)
- 渡邊敬浩, 「食品中の汚染物モニタリングと摂取量調査について」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程食品衛生管理コース (2008.2)
- 棚元憲一, 「化学・生物総合管理の再教育講座: 食品添加物の規格作成」, お茶の水女子大学 (2007.6)

- 棚元憲一, 「添加物の規格Ⅰ」, 日本食品添加物協会平成19年食品衛生管理者登録講習会 (2007.8/2008.1)
- 佐藤恭子, 「添加物の規格Ⅱ」, 日本食品添加物協会平成19年食品衛生管理者登録講習会 (2007.8/2008.1)
- 佐藤恭子, 「食品中の添加物分析について」, 食品衛生登録検査機関協会平成19年度特殊技術研修会 (2007.10)
- 佐藤恭子, 「食品添加物における最近の話題」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程食品衛生管理コース (2008.2)
- 山崎 壮, 「添加物の規格Ⅲ」, 日本食品添加物協会平成19年食品衛生管理者登録講習会 (2007.8/2008.1)
- 河村葉子, 「添加物の規格Ⅳ」, 日本食品添加物協会平成19年食品衛生管理者登録講習会 (2007.8/2008.1)
- 河村葉子, 「器具・容器包装における最近の話題」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程食品衛生管理コース (2008.2)
- 久保田浩樹, 「分析法概論Ⅰ」, 日本食品添加物協会平成19年食品衛生管理者登録講習会 (2007.8/2007.12)
- 久保田浩樹, 「食品中の酸化防止剤の分析について」「添加物試験法と今後の問題点について」, 食品衛生登録検査機関協会平成19年度特殊技術研修会 (2007.10)
- 秋山卓美, 「分析法概論Ⅱ」, 日本食品添加物協会平成19年食品衛生管理者登録講習会 (2007.8/2007.12)
- 山本茂貴, 「食中毒の低減のために我々は何をすべきか」, 平成19年度食品安全行政講習会 (2007.4)
- 山本茂貴, 「食品の衛生管理とHACCPシステム」, 日本獣医生命科学大学 (2007.5)
- 山本茂貴, 「食品の微生物学的リスクアナリシス」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程食肉衛生検査コース (2007.6)
- 山本茂貴, 「最近の微生物性食中毒の発生状況について」, 大妻女子大学 (2007.7)
- 山本茂貴, 「危害分析について」, HACCP連絡協議会 (2007.7)
- 山本茂貴, 「食品の微生物学的リスクアナリシス」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程食品衛生監視指導コース (2007.10)
- 山本茂貴, 「食肉の微生物学的安全性」, 香川県健康福祉部 (2008.1)
- 山本茂貴, 「危害分析について」, HACCP連絡協議会 (2008.2)
- 山本茂貴, 「我が国におけるBSE対策のリスク評価」, 内閣府食品安全委員会 (2008.2)
- 山本茂貴, 「食品の微生物学的リスクアナリシス」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程食品衛生管理コース (2008.2)
- 山本茂貴, 「現行の公定食品細菌検査法の検証と今後の課題」, (独)国際協力機構 (2008.3)
- 五十君静信, 「食肉の細菌制御」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程食肉衛生検査コース (2007.7)
- 五十君静信, 「食中毒菌の検査法」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程食肉衛生検査コース (2007.7)
- 五十君静信, 遺伝子組換え食品の安全性に関する大学院講義, 京都大学大学院 (2007.11)
- 五十君静信, 「遺伝子組換え細菌を用いた機能性製剤の開発とその応用」, 麻布大学大学院 (2007.12)
- 五十君静信, 「乳肉製品の細胞防御」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程食品衛生管理コース (2008.2)
- 町井研士, 「マリンバイオトキシン概論」, 愛知県健康福祉部ふぐ処理師試験実技試験員等研修会 (2007.8)
- 町井研士, 「GLP」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程食品衛生監視指導コース (2007.10)

- 町井 研士, 「マリンバイオトキシン」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程食品衛生管理コース (2008.2)
- 春日 文子, 「食品媒介有害微生物のリスク評価について」, 平成19年度食品安全行政講習会 (2007.4)
- 春日 文子, 「微生物学的リスクアセスメント」, 東京大学農学部 (2007.5)
- 春日 文子, 「微生物学的リスクアセスメントの実際」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程食肉衛生検査コース (2007.6)
- 春日 文子, 「学校給食の衛生管理」, 金沢市教育委員会 (2007.7)
- 春日 文子, 「Risk assessment for food safety」, 国立感染症研究所FETP初期導入コース (2007.7)
- 春日 文子, 「学校給食における食中毒防止について」, 三重県教育委員会 (2007.8)
- 春日 文子, 「食の安全ゼミナールⅡ & V (演習): リスク評価コンピュータ実習」, 東京大学大学院 (2007.8)
- 春日 文子, 「細菌性食中毒・リスク評価」, 麻布大学大学院 (2007.12)
- 春日 文子, 「細菌性食中毒・リスク評価」, 日本獣医生命科学大学 (2007.12)
- 春日 文子, 「リスクアナリシスと地方食品衛生行政」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程食品衛生管理コース (2008.2)
- 春日 文子, 「食品のリスク分析法」, (社) 日本食品衛生協会平成19年度発展途上国食品衛生行政官研修 (2008.2)
- 春日 文子, 「リスクアナリシスと地方食品衛生行政」, 国立保健医療科学院食品衛生管理コース (2008.2)
- 野田 衛, 「ノロウイルス遺伝子検査実習」, 国立保健医療科学院平成19年度特定研修振興再興感染症技術研修 (2007.6)
- 野田 衛, 「ウイルスによる食中毒」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程食品衛生管理コース (2008.2)
- 小西 良子, 「マイコトキシンを巡る最近の話題」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程食品衛生管理コース (2008.2)
- 小西 良子, 「細菌学序論」, 日本食品添加物協会平成19年度食品衛生管理者登録講習会 (2007.8)
- 小西 良子, 「食中毒学」, 日本食品添加物協会平成19年度食品衛生管理者登録講習会 (2007.8/2008.1)
- 小西 良子, 「国際基準設定に向けた食品汚染アフラトキシンの評価」, 食の安全確保のための疫学研究と科学的リスク評価, 食の安全研究センター主催 (2007.11)
- 小西 良子, 「第5回食品安全フォーラム」, カビ毒汚染の現状と対策, 日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会主催 (2007.11)
- 小西 良子, 「マイコトキシンのリスクプロファイル」, 食の安心科学フォーラム 第7回セミナー IFIA Japan 2008主催, (2008.5)
- 工藤 由起子, 「牛肉を主とする畜産物中の腸管出血性大腸菌. 食品に関するリスクコミュニケーション」, 食品安全委員会 (東京) 食中毒原因微生物のリスク評価案件に関する意見交換会 (2007.6)
- 工藤 由起子, 「牛肉を主とする畜産物中の腸管出血性大腸菌. 食品に関するリスクコミュニケーション」, 食品安全委員会 (大阪) 食中毒原因微生物のリスク評価案件に関する意見交換会 (2007.6)
- 工藤 由起子, 「食品衛生にまつわる真菌の最近の話題」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程食品衛生管理コース (2008.2)
- 工藤 由起子, 「腸管出血性大腸菌食中毒とその原因検証のための公衆衛生学的研究」, 東京大学大学院 (2008.1)
- 鎌田 洋一, 「細菌学序論」, 日本食品衛生協会食品衛生管理者の登録講習会 (2008.1)
- 鎌田 洋一, 「細菌・細菌毒素による食中毒」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程食品衛生管理コース

- (2008.2)
- 杉山圭一, 「微生物由来の毒物からのリスク回避にむけて」, 東京農業大学栄養生化学セミナー (2008.3)
- 奥田晴宏, 「医薬品承認審査から見た品質保証」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程薬事衛生管理コース (2007.6)
- 最上知子, 「脂質代謝調節と核内受容体」, 昭和大学大学院 (2007.11)
- 穂山 浩, 「遺伝子組換え食品について」, 「化学・生物総合管理の再教育講座」, お茶の水女子大学 (2007.6)
- 穂山 浩, 「遺伝子組換え食品について」, 日本国際協力センター JICA特別研修コース (2008.1)
- 穂山 浩, 「アレルギー物質を含む食品及び遺伝子組換え食品」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程食品衛生管理コース (2008.2)
- 穂山 浩, 保健医療科学院平成19年度特別課程研究機能強化のための疫学・衛生科学コース (2008.3)
- 森川 馨, 「医薬品情報」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程薬事衛生管理コース (2007.5)
- 竹村玲子, 「医薬品情報」, 国立保健医療科学院平成19年度特別課程薬事衛生管理コース (2007.5)
- 山本 都, 「輸出国における農薬等の使用状況等の調査結果について」, 平成19年度食品安全行政講習会 (2007.4)
- 森田 健, 「化学物質の健康有害性情報とその信頼性」, お茶の水女子大学平成19年度化学・生物総合管理の再教育講座 (2007.7)
- 豊福 肇, 「食品流通安全管理論Ⅲ」, 東京海洋大学 (2007.7)
- 豊福 肇, 「カンピロバクターの国際的な動向について」, 厚生労働省平成19年度食鳥肉衛生技術講習会 (2008.1)
- 豊福 肇, 「Codexにおける食品の微生物学的リスクマネジメント」, HACCP連絡協議会第9回HACCP専門講師フォローアップ講習会 (2007.10)
- 豊福 肇, 「平成19年度コーデックス委員会活動報告」, (社) 日本食品衛生協会 (2008.3)
- 畝山智香子, 「毒性学 (基礎) 毒性情報」, 国立保健医療科学院 (2007.9)
- 鹿庭なほ子, 「医薬品の安全性: 重症薬疹発症に関連したバイオマーカーに関する最近の研究」, 千葉大学 (2008.2)
- 林 譲, 「薬の販売量から推定するインフルエンザ感染の経路と速度」, 東京理科大学大学院 (2007.5)
- 中野達也, 「薬化学特論」, 東京薬科大学大学院 (2007.6)
- 齋藤充生, 「医薬品相互作用と安全性に関する情報提供について」, 中野区保健所平成19年度特別区9区合同薬事講習会 (2007.7)
- 北嶋 聡, 「リスクアセスメント・マネジメント, 環境毒性 (環境汚染物質), 放射線物質, 紫外線」, 日本トキシコロジー学会 (2007.8)
- 簾内桃子, 「培養ヒト細胞等を用いた薬物代謝試験」, (財) ヒューマンサイエンス振興財団ヒューマンサイエンス研究資源バンク技術講習会 (2008.1)
- 宮島敦子, 「最適な投与設計のためにII・薬理遺伝学」, 城西大学大学院 (2007.11)
- 梅村隆志, 「毒性学」, 東京農工大学農学部獣医学科集中講義 (2007.12)
- 林 真, 「遺伝毒性試験-現状と課題」, (財) ヒューマンサイエンス振興財団ヒューマンサイエンス研究資源バンク技術講習会 (2008.1)
- 江馬 眞, 「神経発生毒性試験」, お茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター「化学・生物総合管理の再教育講座」 (2007.10)
- 江馬 眞, 「生殖発生毒性試験」, お茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター「化学・生物総合管理の再教育講座」 (2007.10)

広瀬明彦, 「ダイオキシンのリスク評価」, お茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター「化学・生物総合管理の再教育講座」(2007.4)

広瀬明彦, 「リスクアセスメント」, 千葉大学大学院医学薬学府教育改革プログラム「世界規模の治験・臨床研究を担う医療人育成」医薬品安全性評価学特論(2008.1)

広瀬明彦, 「リスクマネジメント」, 千葉大学大学院医学薬学府教育改革プログラム「世界規模の治験・臨床研究を担う医療人育成」医薬品安全性評価学特論(2008.1)

2. 講演

川西 徹, 「医薬品の品質保証システムについて —現状と将来—」, 医療技術安全教育セミナー 2007年度前期(2007.9)

川西 徹, 「抗体医薬の認可 —品質・安全性確保の視点から—」, 化学工学会主催抗体医薬製造技術基礎講習会(2007.10)

川西 徹, 「後発医薬品の品質, 有効性, 安全性確保の考え方」, 医療技術安全教育セミナー 2007年度後期(2008.1)

四方田千佳子, 「後発医薬品の品質再評価と今後の課題」, 第44回全国薬事指導協議会総会, 全国薬事指導協議会(2007.11)

四方田千佳子, 「16局に向けた医薬品各条原案作成と一般試験法の展望」, (社)東京医薬品工業協会(2008.2)

四方田千佳子, 「製剤試験に関する今後の展望」, (社)東京医薬品工業協会(2008.2)

四方田千佳子, 「溶出試験を巡る最近の動き」, 大阪医薬品協会(2008.3)

檜山行雄, 「医薬品の品質・製造工程(2)」, (財)薬学振興会(2007.6)

檜山行雄, 「ICH Q10医薬品品質システム(Pharmaceutical Quality System)ガイドライン案作成の経緯」, 医薬品品質フォーラムICHQ10説明会(2007.8)

Yukio Hiyama, 「ICH Harmonisation and Japanese Pharma-

ceutical Regulations」, APEC LSIF ICH Quality Guidelines Q8 and Q9 Challenges of Implementations COEX(2007, 9)

Yukio Hiyama, 「Science and Regulatory Studies at National Institute of Health Sciences」, Seminar at US FDA(2007.10)

Yukio Hiyama, 「Current Japanese Regulations and Implementation of ICH Q8-Q10」, 2007 ISPE Annual Meeting(2007.11)

檜山行雄, 「ICHガイドラインQ9の概略と展望ICH専門家会議から」, 第七回医薬品品質フォーラムシンポジウム(2007.12)

檜山行雄, 「ICH品質関連トピックの最近の動向」, 日本医薬品添加剤協会(2008.2)

檜山行雄, 「最近のICH品質関連関係トピックの動向(Q8, Q9, Q10)」, 粒子加工技術分科会・製剤と粒子設計部会 平成19年度第3回 見学・講演会(2008.2)

坂本知昭, 「より良い品質試験検査室管理に向けた考え方」, 愛知県保健福祉部(2008.3)

Yukihiro GODA, 「Pharmacopoeial Topics on Herbal Medicines from 2006 to 2007 in Japan」, The 5th Standing Committee Meeting of the Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicines(2007.10)

合田幸広, 「天然物の基原と品質」, 共立薬科大学特色GPフォーラム(2007.10)

合田幸広, 「食薬区分と違法(脱法)ドラッグ」, 漢方薬・生薬認定薬剤師研修会(2007.12)

合田幸広, 「一般用漢方処方の使用実態調査研究(AUR)」, 漢方薬学シンポジウムイン佐世保(2007.12)

Nobuo Kawahara, 「Comparative Studies on the Developing Solvent for TLC in Pharmacopoeia, Considering Clean Analysis among FHH Member Countries in 2007」, The sub-committee I meeting of the Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicine (FHH)(2007.10)

Nobuo Kawahara, 「Comparative Studies on Pharma-

- copoeial Definitions, Requirements and Information for Crude Drugs among FHH Member Countries in 2007”, The sub-committee I meeting of the Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicine (FHH) (2007. 10)
- 川原信夫, 「最近の生薬行政の動き—第十五改正日本薬局方第一追補及び第二追補を中心に—」, 大阪生薬協会技術部会特別研修会 (2008. 4)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「違法ドラッグとは—指定薬物制度制定の背景—」, 指定薬物の分析・鑑定に関する研修 (2007. 11)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「指定薬物の分析法について」, 指定薬物の分析・鑑定に関する研修 (2007. 11)
- 土屋利江, 「再生医療等の安全性検証システム」, 第80回日本整形外科学会学術総会 (2007. 5)
- 土屋利江, 「次世代医療機器評価について」, 九州大学応用力学研究所研究集会: バイオメカニクスとシミュレーション技術 (2007. 6)
- 土屋利江, 「医療機器の開発ツールと審査への対応」, 日本バイオマテリアル学会 (2007.10)
- 土屋利江, 有機材料系医用材料の安全性・審査「次世代医療から見た有機材料への期待」オルガテクノ2007「有機ビジネステクニカルセミナー」 (2007. 7)
- 土屋利江, 「次世代医療機器評価指標と整形外科系材料の課題」, 九州大学応用力学研究所研究集会: 人工関節とバイオメカニクス・バイオマテリアル (2007. 9)
- 徳永裕司, 「化粧品に含まれるナノマテリアルの現状と課題について」, 日本薬剤師会 (2007.12)
- 徳永裕司, 「化粧品に用いられるナノ粒子・酸化チタンの経皮吸収的な評価について」, 日本薬学会 (2008. 3)
- 神野透人, 「室内環境中の化学物質のリスク評価」, 摂南大学 (2007. 6)
- 西村哲治, 「水道水質管理に関する最近の動向について」, 平成19年度全国給水衛生検査協会支部総会, 全国給水衛生検査協会 (2007. 6)
- 西村哲治, 「環境中における化学物質の動態」, 千葉大学総合安全衛生管理機構 (2007. 9)
- 西村哲治, 「統計誤差と精度管理」, 全国給水衛生検査協会平成19年度認定水道水質検査員研修会 (2007. 9)
- 米谷民雄, 「ポジティブリスト制度施行後の最近の状況」, NPO法人北陸HACCPシステム研修会 (2007. 7)
- 根本 了, 「ポジティブリスト制度導入に伴う残留農薬一斉分析法」, (社) 日本分析機器工業会JAIMAシンポジウム (2007. 8)
- 宮原 誠, 「照射食品の検知法の現状」, (財) 放射線利用振興協会 (2007. 6 / 2007.11)
- 宮原 誠, 「照射食品の国際的動向と検査法」, (財) 東京顕微鏡院 (2007.10)
- 棚元憲一, 「第8版食品添加物公定書に対する業界の対応について」, 日本食品添加物協会 (2007. 4-5)
- 棚元憲一, 「第8版食品添加物公定書改正の要点について」, 日本食品添加物協会講演会 (2007. 5-6)
- 棚元憲一, 「食品添加物の現状と問題点」, 食品開発展2007記念セミナー (2007.11)
- 棚元憲一, 「食品添加物公定書の改訂」, 日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会, 食品安全フォーラム (2007.11)
- 佐藤恭子, 「食品添加物の最近の状況」, 沖縄県福祉保健部 (2007. 7)
- 佐藤恭子, 「食品添加物について」, 大田区の食の安全・安心についての意見交換会 (2008. 2)
- 河村葉子, 「第68回JECFA会議報告」, 日本食品添加物協会 (2007. 8)
- Kawamura, Y., 「Specifications and Standards for Food Contact Articles」, Seminar and Workshop-Food Packaging Regulation in Japan, Department of Science Service, Thailand (2007. 9)
- 河村葉子, 「陶磁器規格改正の背景—WHOリスク評価

- とISO規格」, 日本陶業連盟食品衛生法に基づく陶磁器の鉛等の溶出規格の改正に係る説明会 (2008.1)
- 山本茂貴, 「我が国に輸入される牛肉及び牛内臓に係る食品兼好影響評価の実施に関するプリオン専門調査会の見解について」, 内閣府食品安全委員会 (2007.4)
- 山本茂貴, 「カンピロバクター」, 衛生微生物技術協議会 (2007.7)
- 山本茂貴, 「BSEに関するリスク評価について」, 内閣府食品安全委員会 (2007.8/2007.10)
- 山本茂貴, 「食中毒予防と微生物学的リスクアナリシス」, 栃木県南食肉衛生検査所平成19年度と畜検査員研修会 (2007.10)
- 山本茂貴, 「BSEに関する食品安全委員会のリスク評価について」, 内閣府食品安全委員会 (2007.10)
- 山本茂貴, 「食品の微生物学的リスクアナリシス-現状と将来」, 食の安全を確保するための微生物検査協議会 (2007.11)
- 山本茂貴, 「我が国における牛海綿状脳症 (BSE) 対策のリスク評価」, 内閣府食品安全委員会 (2007.11)
- 山本茂貴, 「食肉の安全性の評価 - BSEとリスク評価」, 岐阜大学大学院 (2008.3)
- 五十君静信, 「腸内フローラ研究の動向と遺伝子組換え微生物の現状」, 製品評価技術基盤機構 (2007.6)
- 五十君静信, 「食肉の細菌制御」, 千葉県平成19年度食肉衛生技術研修会 (2007.11)
- 五十君静信, 「微生物検査の標準化・日本の現状と今後」, 日本食品微生物学会 (2007.12)
- 春日文子, 「日本学術会議の活動と獣医公衆衛生」, 第143回日本獣医学会公衆衛生分科会シンポジウム (2007.4)
- 春日文子, 「ICMSFにおける食品微生物規格基準の考え方」, ifaJAPAN2007食の安心科学フォーラム 第6回セミナー (2007.6)
- 春日文子, 「気をつけよう調理中の二次汚染」, 厚生労働省 食品に関するリスクコミュニケーション～食中毒予防対策などを中心とした食品安全への取り組みについて～, 津 (2007.6)
- 春日文子, 「持続可能な発展のための教育」, アジア学術会議合同シンポジウム (2007.6)
- 春日文子, 「日本における微生物リスク評価の進め方」, 食品に関するリスクコミュニケーション-食中毒原因微生物のリスク評価案件の選定に関する意見交換会(東京)(大阪) (2007.6)
- 春日文子, 「食の安全 - 調理場から世界のリスクアナリシスまで」, 学術会議第二部市民公開シンポジウム『21世紀の健康づくりと安全・安心な社会』, 札幌 (2007.7)
- 春日文子, 「持続可能な社会のための科学と技術」, 日本学術会議国際シンポジウム (2007.9)
- 春日文子, 「国際的な微生物規格基準設定の考え方」, 第28回日本食品微生物学会学術総会シンポジウム (2007.9)
- 春日文子, 「日本国内の衛生管理の現状と対策」, フードシステムソリューション2007 (2007.10)
- 春日文子, 「微生物学的リスクアセスメントの新たな展開」, 第20回日本リスク研究学会研究発表会 (2007.11)
- 春日文子, 「食中毒と気象の関係について」, 気象庁気象研究所 (2007.12)
- 春日文子, 「食品媒介感染症 (食中毒) 菌のリスク評価とそのために必要な情報」, 第4回岩手Farm to Tableフォーラム研究会 (2008.2)
- 野田 衛, 「ノロウイルス2006/2007シーズンの疫学的特徴」, 衛生微生物技術協議会 (2007.7)
- 野田 衛, 「ノロウイルス, 特に2006/2007シーズンの免疫学的特徴と大流行の要因について」, 熊本市平成19年度市場における食品安全対策講演会 (2007.10)
- 野田 衛, 「大丈夫ですか? あなたの家庭の衛生対策」, 中央区保健所 (2007.10)

- 野田 衛, 「近年のノロウイルス感染症の特徴とその対策について」, 静岡県平成19年度食品衛生監視員研修会 (2007.10)
- 野田 衛, 「ノロウイルス感染症の現状と対策」, (社) 日本薬学会 (2007.12)
- 小西良子, 「国際基準設定に向けた食品汚染アフラトキシンの評価」, 東京大学大学院 (2007.11)
- 小西良子, 「カビ毒汚染の現状と対策」, (社) 日本薬学会 (2007.12)
- 奥田晴宏, 「品質に関するトピックの動向(1)Q8 (R1): 製剤開発 (補遺)」, (財) 日本公定書協会 (2007.6)
- 奥田晴宏, 「Q8 (R1): 製剤開発 補遺」, (財) 日本公定書協会 (2007.11)
- 澤田純一, 「食品安全委員会における遺伝子組換え食品等のリスク評価について」, 食品安全委員会, 食品に関するリスクコミュニケーション—EUにおける遺伝子組換え作物のリスク評価について— (2007.11)
- 斎藤嘉朗, 「遺伝子多型と医薬品効果・副作用予測への応用」, (財) 新世代研究所 (2007.5)
- 斎藤嘉朗, 「遺伝子多型とその機能影響, 及び副作用予測への応用」, 茨城県中性子利用促進研究会 (2007.7)
- 斎藤嘉朗, 「イリノテカン応答性関連遺伝子の多型解析, ハプロタイプ解析, 及びこれらの人種差について」, ファルマハプロタイプ研究会 (2008.1)
- 佐井君江, 「イリノテカン応答性関連遺伝子の多型・ハプロタイプと薬物動態・副作用との相関について」, ファルマハプロタイプ研究会 (2008.1)
- 手島玲子, 「遺伝子組換え食品への不安—組換え食品の安全性評価」, 平成19年度厚生労働科学研究 食品の安心・安全確保推進研究シンポジウム (2007.11)
- 手島玲子, 「遺伝子組換え食品の安全性評価」, 東京理科大学総合研究機構界面科学研究部門・理窓博士会 産学官連携講演会 “食の安全・安心, そして健康” (2007.12)
- Reiko Teshima, Ryosuke Nakamura, Rie Sato; Analysis of allergens and allergenome/Fish, Rice, HESI novel protein safety evaluation workshop (2008.2)
- Ryosuke Nakamura, Rika Nakamura, Reiko Teshima: Allergen database/Introduction of ADFS, HESI novel protein safety evaluation workshop (2008.2)
- 穂山 浩, 「健康食品と科学」, 日本薬科大学 (2007.7)
- 穂山 浩, 「遺伝子組換え食品について」, 大田区小学校特別講演 (2007.12)
- 穂山 浩, 「遺伝子組換え食品について」, 韓国慶北大学特別講演 (2008.1)
- 穂山 浩, 「アガリスクとスギヒラタケの安全性」, 千葉県高機能性食品開発事業化研究会第1回定例研究会講演 (2007.7)
- 佐藤里絵, 「食品中のアレルギー性物質」, 東京理科大学総合研究機構界面科学研究部門・理窓博士会 産学官連携講演会 “食の安全・安心, そして健康” (2007.12)
- 森川 馨, 竹村玲子, 芦澤一英, 「FDA大規模副作用症例データベース (AERS) を用いた医薬品安全性情報の解析」, (平成19年度厚生労働科学研究費補助金政策創業総合推進事業研究成果発表会) (2008.2)
- 畝山智香子, 「食品中汚染物質の概要と情報について」, 神奈川県保健福祉部平成19年度食品衛生監視員研修 (専門監視コース) (2008.1)
- 長谷川隆一, 「副作用報告からのシグナル検出の現状と問題点」, 第4回医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラム (2007.10)
- 鹿庭なほ子, 「副作用発生機序の遺伝子レベルでの解明研究の現状と問題点」, 第4回医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラム (2007.10)
- 鹿庭なほ子, 「重症薬疹の遺伝子マーカーに関する研究」, 日本製薬医師連合会・2月研修 (2008.2)
- 林 譲, 「住民の健康状況を看視する—地域住民の健康危機管理対策—」, 神奈川県衛生研究所 (2008.2)
- 齋藤充生, 「医薬品相互作用と安全性について」, 農林水

産省動物医薬品検査所 (2007.8)

齋藤充生, 「医薬品添付文書情報とリスクコミュニケーションについて」, 一般用医薬品・植物製剤の現状と将来研究会 (2007.11)

菅野 純, 「トキシコゲノミクス (Percellome Project) を基盤とした分子毒性学の展開の試み」, 日本比較薬理・毒性学会 (2008.3)

菅野 純, 「ナノマテリアルの毒性試験・毒性評価」, 日本薬学会 (2008.3)

北嶋 聡, 「動物実験代替法における分子毒性学的アプローチ」, 日本実験動物医学会 (2007.5)

簾内桃子, 「動物実験の代替法はどこまで進んだのか? 「培養ヒト細胞等を用いた薬物代謝試験」, 第7回ヒューマンサイエンス研究資源バンク技術講習会, 大阪 (2008.1)

Kojima, H., "JaCVAM Update", Scientific Advisory Committee on Alternative Toxicological Methods, Bethesda, (2007. 6)

Kojima, H. "JaCVAM Update", 6th World Congress on Alternatives 6 Animal Use in the Life Sciences, Tokyo (2007. 8)

Kojima, H. "JaCVAM Process to Validate and Peer Review of New Alternative Methods", 6th World Congress on Alternatives 6 Animal Use in the Life Sciences, Tokyo (2007. 8)

Kojima, H. "Validation study using Japanese models", 6th World Congress on Alternatives 6 Animal Use in the Lif Sciences, Tokyo (2007. 8)

Kojima, H., "JaCVAM Update", ECVAM Scientific Advisory Committee, Ispra (2007. 10)

Kojima, H., "International Validation Study of Non Animal Screening Assay for Endocrine Disrupter", 2007 National Institute of Toxicological Research International Symposium, Korea (2007. 10)

Kojima, H., "The Importance of the in vivo comet assay

in genotoxicity testing", Predictive Human Toxicity and ADME/TOX studies, 3rd Annual conference of Mondial Research Presentation, Brussels (2008. 1)

Kojima, H., "JaCVAM Update", ECVAM Scientific Advisory Committee, Ispra (2007. 10)

Kojima, H., "International Validation Study of Non Animal Screening Assay for Endocrine Disrupter", 2007 National Institute of Toxicological Research International Symposium, Korea (2007. 10)

Kojima, H., "The Importance of the in vivo comet assay in genotoxicity testing", Predictive Human Toxicity and ADME/TOX studies, 3rd Annual conference of Mondial Research Presentation, Brussels (2008. 1)

Kojima, H.: JaCVAM Update
6th World Congress on Alternatives 6 Animal Use in the Life Sciences, Tokyo (2007. 8)

Kojima, H.: JaCVAM Process to Validate and Peer Review of New Alternative Methods
6th World Congress on Alternatives 6 Animal Use in the Life Sciences, Tokyo (2007. 8)

Kojima, H. : Validation study using Japanese models
6th World Congress on Alternatives 6 Animal Use in the Life Sciences, Tokyo (2007. 8)

小島 肇, 「代替法を取り巻く内外の動きと今後の方向性」, 皮膚基礎研究クラスターフォーラム第2回教育セミナー, 東京 (2007. 7)

小島 肇, 「動物実験と代替法の現状」, 城西大学生命科学研究センター講演会, 城西大学 (2007.10)

吉田 緑, 「卵巣の定量評価」, 生殖・発生毒性学東京セミナー (2007.10)

林 真, 「遺伝毒性試験 (見直し)」, (財)日本公定書協会 (2007.6/2007.11)

林 真, 「発がん性評価における遺伝毒性」, 東京大学大学院 (2007.11)

林 真, 「遺伝毒性試験ガイドランスの見直し」, (財)食

品農医薬品安全性評価センター (2007.11)

林 真, 「化学構造から毒性の評価ができるか」, (社) 日本食品衛生協会 (2008.1/2008.2)

山田雅巳, 「pKM101プラスミドについて」, 日本環境変異原学会 微生物変異原性試験研究会 第38回定例会 (2007.7)

山田雅巳, 「酸化dNTPを取り込むことで誘発される突然変異とY-ファミリー DNAポリメラーゼ」, 熊本大学大学院 (2007.9)

江馬 眞, 「動物試験の現状と今後の課題」, 熊本大学 (2008.1)

鎌田栄一, 「色材と安定性」, (社)近畿化学協会 (2007.7)

広瀬明彦, 「遺伝毒性発がん物質の評価方法」, 日本国際生命科学研究機構 (2007.6)

広瀬明彦, 「構造活性相関手法を用いた工業化学物質の毒性評価支援システムの開発」, 創薬情報研究会 (2008.1)

広瀬明彦, 「ナノ物質による健康影響とその評価」, (社) 日本食品衛生協会 (2008.1/2008.2)